

製品名: Myf-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14284**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	MYF6
別名	MYF6; BHLHC4; MRF4; Myogenic factor 6; Myf-6; Class C basic helix-loop-helix protein 4; bHLHc4; Muscle-specific regulatory factor 4
遺伝子 ID	4618.0
SwissProt ID	P23409
免疫原	抗血清はヒト MYF6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 116-165

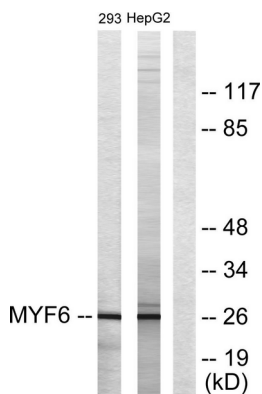
背景

筋原因子 6 (MYF6) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、筋肉の分化に関与する塩基性ヘリックス・ルー

プ・ヘリックス (bHLH) DNA 結合タンパク質であると考えられます。コードされるタンパク質は、おそらく別の bHLH タンパク質とヘテロ二量体として作用します。この遺伝子の欠陥は、常染色体優性中心核ミオパチー (ADCNM) の原因となります。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]、疾患: MYF6 の欠陥は、常染色体優性中心核ミオパチー (ADCNM) [MIM: 160150]の原因となる可能性があります。常染色体優性ミオチューブラーミオパチーとしても知られています。中心核ミオパチーは、主に肢帯、体幹、および頸筋の進行性の筋力低下および萎縮を特徴とする先天性筋疾患です。遠位筋も影響を受ける可能性があります。筋力低下は小児期または青年期に現れる場合もあれば、20 代まで明らかにならない場合もあります。眼瞼下垂はよくみられる臨床所見です。最も顕著な組織病理学的特徴としては、再生に起因しない筋線維の中心核の高頻度分布、中心核周囲の筋小胞体線維の放射状配列、およびタイプ 1 線維の優位性と低栄養などが挙げられます。機能: 筋分化に関与 (筋原性因子)。線維芽細胞を筋芽細胞への分化を誘導する。おそらく配列特異的な DNA 結合タンパク質。類似性: 1つの塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要である。組織特異性: 骨格筋。、

研究分野

画像データ



MYF6 抗体を用いた HepG2 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した Myf-6 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。